



えがお vol.39

発行：さいたま市立病院
発行者：院長 窪地 淳
住所：さいたま市緑区大字三室 2460
電話：048-873-4111
<http://saitama-city-hsp.jp>

緩和ケア科のご紹介

この度、さいたま市立病院の緩和ケア医として着任しました、林 憲孝と申します。

昨年5月頃からさいたま市立病院の緩和ケア病棟のあり方などに関して、ディスカッションを重ね、11月より緩和ケア病棟の科長として、さいたま市立病院の一員として勤務することとなりました。

昨年末の新病院移転から、1月～2月の期間は、まずは一般床から緩和ケア病棟に入棟を希望された患者さんを緩和ケア病棟にお引き受けしながら、医師や看護師のトレーニングを行うとともに、少しずつ患者さんの受け入れを増やしております。

緩和ケア病棟は、いわゆるホスピスケアとは立ち位置が異なり、がんによる辛い症状をお持ちの患者さんを受け入れ、症状の改善が得られた場合は、自宅や施設などに退院をお願いすることになります。

勿論、入院中に病状の悪化が進行したり、一度改善

された症状が再燃した場合、または改善して自宅などに退院された場合でも、再度症状が悪化した場合には再度ご利用が可能です。

また、本年3月中旬から、新たに外来での院外患者さんの受け入れ要請に対しても、受け入れを開始する運びとなりました。

お問い合わせにつきましては、ホームページを御参照いただき、さいたま市の各医師会の先生方や、現在治療を行われている主治医の先生より、紹介状の作成をお願いします。

その他、自宅で過ごされていらっしゃる患者さんで、ご本人の症状は落ち着いていても、ご家族が疲弊しているような場合もご相談に乗りますので、こちらの場合でも主治医の先生とご相談の上、紹介状の作成をお願いいたします。



林 憲孝 医師

緩和ケア病棟が開設いたしました

1. 緩和ケア病棟とは

緩和ケア病棟はがんによる痛みをはじめとする身体症状、気持ちの辛さなど様々な苦痛を和らげることを目的とした専門病棟です。在宅での療養が困難な苦痛を抱える患者さんに入院していただき、症状の緩和・調整を行い、地域で生活できるよう支援をいたします。

地域に戻られた後も、当院緩和ケア外来に通院しながら緩和ケアを受けることもできるほか、通院が困難な患者さんに対しては、ご自宅でも緩和ケアが受けられるよう地域の医療機関と連携します。

2. 施設の概要

病床数：20床

大部屋1室（4名）個室16部屋（内、10部屋は有料、1日10,000円 [税別]）

※トイレ、洗面台、テレビ、冷蔵庫、ソファベッド、チェスト完備

病棟設備：面談室、談話室、キッチン兼パントリー、家族室（2室）、瞑想室、浴室



個室は16部屋あります
(内、10部屋は有料)。



大部屋（4人部屋）は窓から市内の景色がのぞめます。



緩和ケア病棟に面する屋上です。

3. ご入院の条件

- ①悪性腫瘍の診断がなされている方
- ②治癒を目的とした治療（※）をしていない方・希望していない方
- ※手術、抗がん剤治療、ホルモン療法、放射線治療を指します。
ただし、症状緩和を目的とすると判断されるものは除きます。
- ③患者さんやご家族が緩和ケア病棟への入棟を希望されていること
- ④患者さんに病名の告知がされていること
- ⑤入院による症状緩和を必要とする状態であること
- ⑥初診外来で診察を行い、入院判定会議で許可されていること
- ⑦症状が落ち着き次第、退院することを了承されていること

4. ご退院の条件

- ①患者さんやご家族が退院を希望される場合
- ②症状が安定し、在宅ケアが可能と医師が判断した場合
- ③治癒を目的とした治療を患者さんやご家族が希望した場合
- ④緩和ケア病棟で対応困難な併存疾患に対する治療を優先する必要がある場合
- ⑤他の患者さんへの他害行為、迷惑行為が認められる場合

5. 施設利用について

面会について

- 24時間いつでも面会は可能です。（大部屋の場合、消灯後はご遠慮ください）
- ご家族については家族室にて宿泊することも可能です。看護師に申し出てください。
- キッチンにて患者さんやご家族がお料理をしていただくことも可能です。
- ペットを連れてきて面会することも可能です。

嗜好品について

- 患者さんに限り、お楽しみ程度の飲酒は可能です。面会者の飲酒は禁止です。
- 喫煙については、敷地内禁煙のため禁止とさせていただきます。

6. 利用までの流れ

- 1 お申込み** 緩和ケア病棟のご利用については、原則、医療機関を通じてのやりとりとなります。当院の緩和ケアの利用を希望される方は、かかりつけの医療機関にご相談ください。
- 2 受診希望の受付** 紹介元の医療機関より、入棟依頼書、診療情報提供書、検査データ等を送っていただきます。内容を確認した後、緩和ケア外来の予約をお取りします。（毎週火曜日 午後）
- 3 緩和ケア外来の受診** 家族のみの受診の場合は、家族面談料（5,000円 税別）がかかります。1階患者支援センター「地域連携窓口」にお越しください。保険証・診療情報提供書（原本）・画像データなどのCD-ROM（必要時）・おくすり手帳をお持ちください。
- 4 緩和ケア病棟への入院のお申込み** 入院をご希望される方は患者支援センターにて入院申込のお手続きをお願いします。
- 5 入院判定会議** 緩和ケア医や病棟スタッフ等により、入院をお受けできるか検討し、結果を紹介元の医療機関や患者さんにご連絡いたします。
- 6 受入れのご案内** ベッドのご用意ができ次第、入院のご案内をさせていただきます。
※ 病床の状況によっては、基準が満たされていても待機いただくこともあります。

院長への手紙 報告

皆さまから寄せいただいた、貴重なご意見等をもとに、今後も患者さんを尊重し、信頼される病院であるように職員一同努めてまいります。寄せいただいたご意見について、一部紹介させていただきます。

皆様からのご意見

時計を設置してほしい。

時計については、ご指摘を踏まえ、現在、設置個所を再検討しているところでございます。皆様にできるだけ不便がかからないよう、病院の使用環境を整えてまいります。

清掃が行き届いていない。

清掃の行き届いていない部分については、業者に対し指導を行いました。
清掃委託業者と協議を行い、より良い環境を保てるよう管理いたします。

無料のロッカーを設置してほしい。

受益者負担を考慮し、コインロッカーの清潔を維持し、適切な管理を確保することを理由とし、新病院からは、1回の利用につき、100円の使用料をいただくこととなりました。
何か不自由なことがありましたら、担当者にご相談ください。

水飲み場を設置してほしい。

衛生性、感染性を考慮し設置しないことといたしました。

送迎者の乗降場所がわかりにくい。

案内表示については、わかりやすい標示を検討してまいります。

職員が半袖で働く温度にあわせないでほしい。
1Fロビーは足元が非常に冷える。
高齢者にはたえられない。

看護師の制服は、手指衛生の面もあるため半袖となっています。
様々な年齢層の方が、病院を利用するため、個々の対応は難しい状況ですが、適正な温度管理を努めてまいります。

土日・祝日に売店に入れないのが不便。
ATMも使用できない。

新病院になりましたから、病院の出入りにつきましては、患者さんの治療と安静確保及び館内の安全管理のために、制限をさせて頂いております。旧病院とは異なっていることから、ご不便に感じられることと思いますが、管理上の観点から、この様な体制をとらせていただいていることをご理解くださいますようお願いいたします。



新しく図書コーナーができました

新病院2階に新しく図書コーナーが出来ました。入院患者さんは本の貸し出しも可能です。どうぞご利用ください。



1. 利用時間

月曜日～金曜日 9:00～12:00

※土・日・祝日・年末年始等病院の休診日は閉室となります。

2. ご利用方法

- 図書の利用は閲覧のみとします。利用後は元の場所に戻してください。
ただし、入院患者さん及びそのご家族の方のみ貸出を行います。
(貸出は1人2冊まで、期間は1週間となります。貸出カードを受付へご提出ください。)
- 病気や治療に関するパンフレット、チラシ等を設置しています。
ご自由にお持ち帰りください。

3. 注意事項

- 当図書コーナーは、利用者がよりよい情報を得て、健康や暮らしに役立てていただくことを目的とします。特定の本の情報や治療法などを薦めるものではありません。
- 複写(コピー)は著作権法に触れることがあるため行っていません。
- 飲食は禁止です。
- 他の方の迷惑となるため、私語はご遠慮ください。
- 伝染性疾患に罹患している場合またはそれが疑われるとき等、利用制限等をさせていただく場合があります。
- 利用者が故意または過失により、図書及び設備器具を汚損した場合は、その損害を現品または相当の代価をもって賠償していただきます。

※この印刷物は1200部制作し、1部当たりの印刷経費は60.5円です。